

# Makita

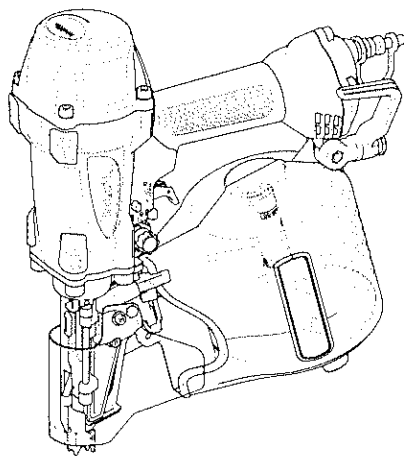
ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしをよりよくなるために

## 取扱説明書

## 高圧エア釘打

モデル AN910H



このたびは**高圧エア釘打**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






## INDEX


|   |                  |    |
|---|------------------|----|
| 1 | 各部の名称            | 4  |
| 2 | 安全上の注意点          |    |
|   | 使用前              | 5  |
|   | 使用中              | 8  |
|   | 使用后              | 10 |
| 3 | 製品仕様と用途          | 11 |
| 4 | エア消費量            | 11 |
| 5 | 別販売品のご紹介         | 12 |
| 6 | 使用方法             |    |
|   | 釘の入れ方            | 14 |
|   | 単発・連続打ちの切替機構     | 15 |
|   | コンタクトアームロックの使い方  | 16 |
|   | アジャスタ(打込み深さ調整)方法 | 16 |
|   | フックの使い方          | 17 |
|   | ノーズアダプタの使い方      | 17 |
|   | 連結シートの切り方        | 18 |
|   | 釘詰まりの直し方         | 18 |
|   | 釘の選定             | 19 |
|   | エア圧力の目安と調整方法     | 21 |
| 7 | 使用後のメンテナンス       | 22 |

## 注意文の 警告・ 注意・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告と  注意・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

 **警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

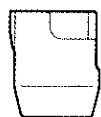
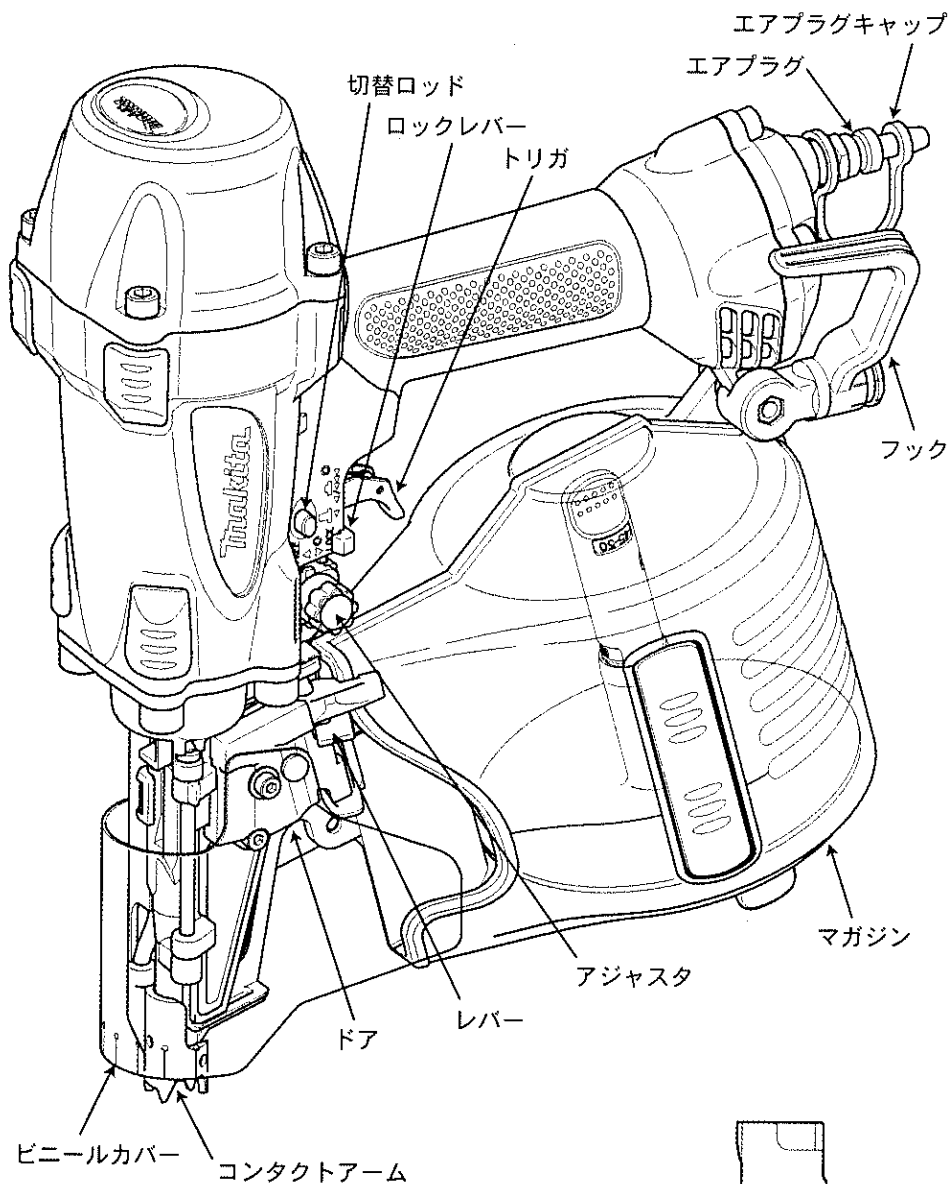
 **注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。  
なお、 **注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注**：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

### 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 必ず保護メガネを着用して使用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検し、正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は、必ずコンタクトアームをロックして、エアホースを外す。
- 使用時以外は、絶対にトリガ(引き金)に触れない。
- 必ず高圧釘打機専用エアコンプレッサ、専用エアホースを使用する。
- エアコンプレッサ以外の動力源を絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物の近くで、絶対に使用しない。

# 各部の名称



ノーズアダプタ

# 安全上の注意点

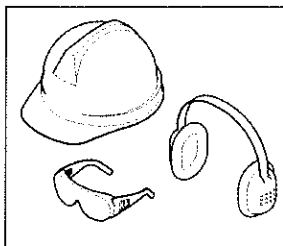
## 使用前

### ⚠警告

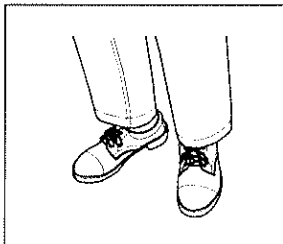
- ①使用の際は、必ず保護メガネおよびヘルメットを着用して下さい。

釘を連結しているワイヤおよびプラスチックや、打ち損じの釘が目に入ると危険です。

作業中は作業者および周りの人も保護メガネ・ヘルメットを着用して下さい。



- ②発射（排気）音や排気エアから耳を保護するため、防音保護具を着用して下さい。

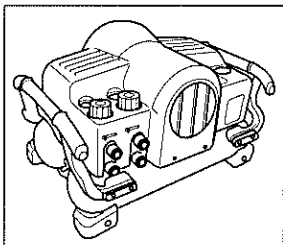


- ③作業環境に応じて、安全靴を着用して下さい。

- ④作業環境は整理整頓を行い、足下に注意してください。

- ⑤エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないで下さい。

本製品はエアを動力源とする工具です。圧縮エア以外（例：高圧ガス、酸素等）を使用すると異常燃焼を起こし、爆発の危険を伴います。



- ⑥使用の際は、必ず高圧釘打機専用コンプレッサと専用ホースを使用する。

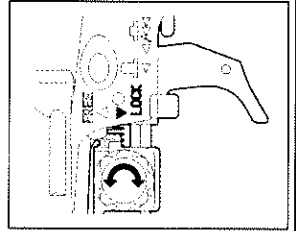
本製品は、使用圧力を一般の釘打機より高く設定されています。必ず高圧釘打機専用エアコンプレッサと専用エアホースを使用して下さい。

なお本製品は、一般用エアホース、一般用エアプラグなどとは接続できないようにしてありますので、絶対に改造はしないで下さい。

## ⚠ 警告

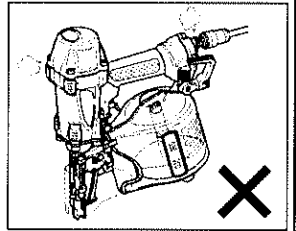
### ⑦ エアホース接続の際、次の事を厳守してください。

- コンタクトアームをロックする。
- コンタクトアームに触れたり、押し上げた状態にしない。
- 射出口を人体に向けない。



### ⑧ 釘を装填する前に、エアホースを接続し、次の事を確認して下さい。

- エアホースを接続しただけで、本製品が作動しないか。
  - エア漏れや異常音を発する事はないか。
- 上記のような異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店および当社指定のサービスセンターまで、点検・修理に出して下さい。



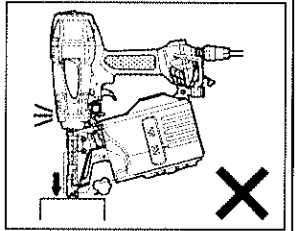
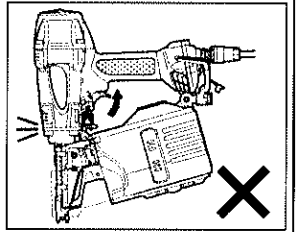
### ⑨ 安全装置(コンタクトアーム)が正常に作動するか確認して下さい。

正常でない場合は、絶対に使用しないで下さい。

釘を装填する前にエアホースを接続し、コンタクトアームロックを解除して、次の事を確認して下さい。

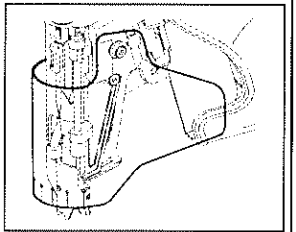
- トリガを引いただけで、作動音がある。
- コンタクトアームを対象物に押し付けただけで作動音がある。

上記のような異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店および当社指定のサービスセンターまで、点検・修理に出して下さい。



### ⑩ ビニールカバー(防塵カバー)は絶対に取り外さないで下さい。

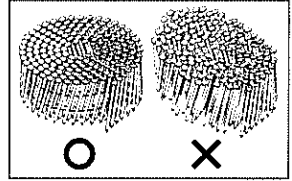
ワイヤ連結釘を使用の際、ワイヤが飛散する場合がありますので、ビニールカバーは絶対に取り外さないで下さい。



**⚠ 警告**

**⑪ 連結釘の確認を行って下さい。**

使用前に連結釘が変形していないか、絡まっていないか、確認して下さい。もし、異常を感じる連結釘が発見された場合、絶対に使用しないで下さい。



**⑫ 指定の釘を使用して下さい。**

指定の釘以外のものを使用すると、故障や釘詰まりの原因になるだけでなく、思わぬ事故や施工上の欠陥になる場合があります。必ず、指定の釘をご使用下さい。

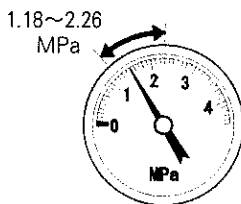


## 使用中

### ⚠ 警告

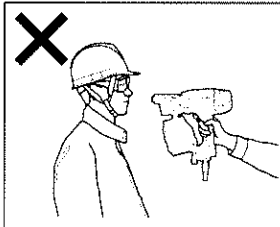
#### ①使用圧力範囲でご使用下さい。

本製品の圧力範囲は1.18～2.26MPa（12～23kgf/cm<sup>2</sup>）です。この範囲内で使用して下さい。圧力が1.18MPa未満に低下している場合、打込み不良・空打ち等の現象が発生し、本製品の性能が十分に発揮されません。また、2.26MPaを越えた圧力で使用すると、本製品の耐久性が低下し、破損・破裂により人体へ損傷を与える危険性があります。



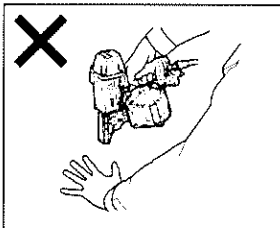
#### ②射出口を絶対に人体に向けないで下さい。

誤って発射された場合、大変危険ですので、人体に射出口を絶対に向けないで下さい。



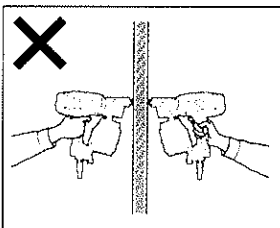
#### ③射出口の近くには、絶対に手を近づけないで下さい。

材料に手を添えて使用する場合、手を射出口から30cm以上を目安に離し、安全を確認の上ご使用下さい。釘が跳ね返って飛んできたり、誤って手を打つ危険性があります。



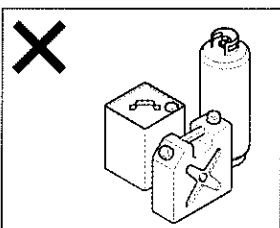
#### ④向かい合っでの釘打ち作業は絶対にしないで下さい。

向かい合っで釘打ち作業を行う場合、材料を釘先が突き抜けたり、打ち損じた釘が前の作業者に当たり、思わぬ事故を引き起こす場合があります。



#### ⑤揮発性可燃物の周りでは、絶対に作業しないで下さい。

本製品は、釘が発射されて対象物に打ち込まれる際、火花が散ることがあります。揮発性可燃物（シンナー、ラッカー、ガソリン等）の近くで作業すると、火花による引火で爆発や火災の原因になります。



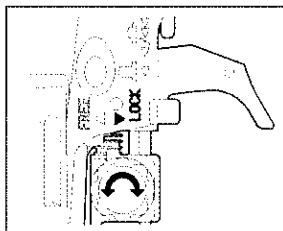


**警告**

⑥次の場合は、コンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

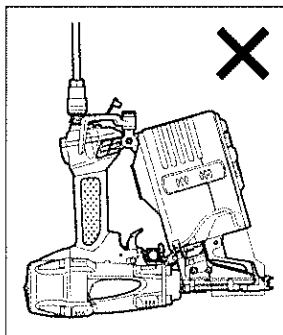
- 使用しない時や、作業を中断する時。
- 釘を装填する時。
- 打込み調整や、釘詰まりを直す時。
- 持ち運ぶ場合や、手渡しする時。
- フックを腰ベルトに引っ掛ける時。

誤って釘が発射された場合、大変危険です。



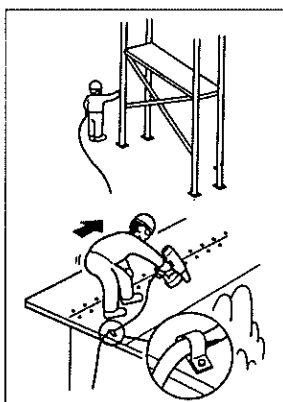
⑦エアホースを持って、本製品を吊らさないで下さい。

高所での作業終了後、エアホースを持って本製品を吊り下げる事は、大変危険です。人体に接触し、思わぬ事故が発生するばかりか、本製品の落下による損傷の原因となります。



⑧足場の安全性を充分に確認して下さい。

足場を利用して作業する場合、転落することのないように、充分に安全を確保するようにして下さい。



⑨高所作業の場合、エアホースを固定して下さい。

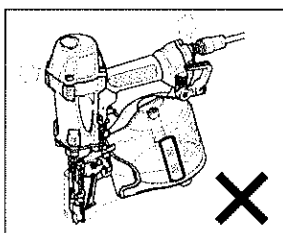
本製品が落下すると、歩行者や他の作業者に危険が及びます。落下を防ぐため、エアホースは固定して下さい。

⑩傾斜面(屋根など)での作業は、下から上に向かって作業して下さい。

下に向かって作業すると、足を踏み外す危険があります。

⑪使用中に異常を感じたら、すぐ使用を中止して下さい。

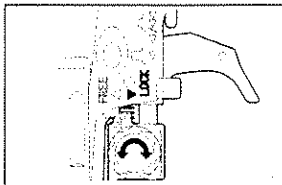
異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店および当社指定のサービスセンターまで、点検・修理に出して下さい。



## 使用後

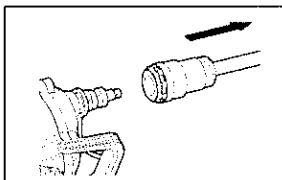
### ⚠ 警告

①作業後は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。



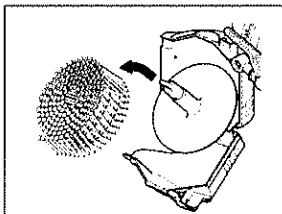
②作業後は、必ず釘を抜き取って下さい。

釘をマガジン内に残しておく、次に使用する際、誤って作動した場合に、思わぬ事故を引き起こすことがあります。



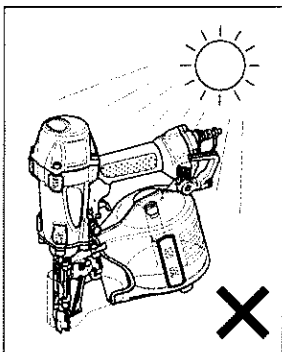
③直射日光を避けて下さい。

本製品や、エアコンプレッサ、エアセットは、直射日光に長時間当てたまま放置しないで下さい。



④本製品を絶対に改造しないで下さい。

本製品は使用者の安全を考えて設計・製造されています。お客様の都合で改造したり、正規部品以外を取り付けて使用する事は、大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。



## 製品仕様と用途

|           |   |            |
|-----------|---|------------|
| 商品名       | AN910H                                  |            |
| 寸法(H×W×L) | 330×128×290 mm                          |            |
| 質量(プラグ除く) | 2.4kg                                   |            |
| 使用圧力範囲    | 1.18～2.26MPa(12～23kgf/cm <sup>2</sup> ) |            |
| 使用ホース     | 内径 5 mm以上 長さ30m以内                       |            |
| 使用オイル     | タービン油 (JIS2種 ISO VG32)                  |            |
| エア基本構造    | エアリサイクル機構                               |            |
| 安全装置      | コンタクトアーム方式、コンタクトアームロック機構                |            |
| 打込み深さ調整   | ダイヤル式(調整幅 6mm)                          |            |
| マガジン      | サイドオープン方式                               |            |
| 釘送り機構     | フィードピストン方式                              |            |
| 装填本数      | ワイヤ連結：150、200、250、300本                  | シート連結：200本 |
| 標準付属品     | 保護メガネ、油サシ(タービン油 JIS2種 ISO VG32)         |            |
|           | 六角棒レンチ4本(3、4、5、6mm)、ノーズアダプタ             |            |
| 使用用途      | 木材と木材の接合                                |            |
|           | 木材と鋼板 (1.6～3.2mm厚)の接合                   |            |
|           | 木材とコンクリートの接合                            |            |

## エア消費量

| 使用圧力<br>MPa(kgf/cm <sup>2</sup> ) | 1サイクル当たりのエア消費量<br>リットル |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1.18 (12)                         | 2.10                   |
| 1.37 (14)                         | 2.40                   |
| 1.57 (16)                         | 2.70                   |
| 1.77 (18)                         | 3.00                   |
| 1.96 (20)                         | 3.30                   |
| 2.16 (22)                         | 3.60                   |
| 2.26 (23)                         | 3.75                   |

※単発打ちでのエア消費量です。連続打ちの場合とは異なりますので、コンプレッサ選定の目安にしてください。

# 別販売品のご紹介

| ワイヤ釘                   |   |                     |        |
|------------------------|---|---------------------|--------|
| 材質                     | 用途  | 色および種類              |        |
| 鉄                      | 一般木材  | 無地 スムース             |        |
|                        |   | 無地 スクリュ<br>チゼルポイント  |        |
|                        |   | N釘(品確法対応)<br>JIS相当品 | N45 無地 |
|                        |   |                     | N50 黒  |
|                        |   |                     | N65 橙  |
|                        |   |                     | N75 黄緑 |
|                        | N90 紫   |                     |        |
|                        | CN釘(2×4工法対応)<br>JIS相当品                                      | CN50 緑              |        |
|                        |   | CN65 黄              |        |
|                        |   | CN75 青              |        |
| CN90 赤                 |   |                     |        |
| BN釘(2×4工法対応)<br>JIS相当品 | BN75 茶  |                     |        |
|                        | BN90 緑  |                     |        |
| コンクリート<br>鋼板           | 焼き入れ ユニクロ<br>スクリュ<br>(鋼板厚さ3.2mm以下)<br>※長さ65mmの釘は鋼板厚さ2.3mm以下 |                     |        |

| シート釘[ワイドシート] |        |                                 |
|--------------|--------|---------------------------------|
| 材質           | 用途     | 色および種類                          |
| 鉄            | コンクリート | 焼き入れ ユニクロ<br>スムース               |
|              | 鋼板     | 焼き入れ ユニクロ スクリュ<br>(鋼板厚さ2.3mm以下) |
| ステンレス        | 外装     | スクリュ                            |
|              |        | リング                             |

## 別販売品のご紹介

| 長さ (mm) | 胴径 (mm) | 頭径 (mm) | 部品番号    | 梱包単位 (1箱) |
|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 45      | 2.5     | 6.0     | A-30841 | 300本×30巻  |
| 50      |         |         | A-30857 |           |
| 57      |         |         | A-30863 |           |
| 65      |         |         | A-30162 |           |
| 75      | 3.1     | 7.2     | A-30689 | 200本×20巻  |
| 90      |         |         | A-30695 | 150本×20巻  |
| 50      | 2.5     | 6.0     | A-40331 | 300本×30巻  |
| 57      |         |         | A-18926 |           |
| 65      |         |         | A-18932 |           |
| 50      | 2.9     | 6.7     | A-40347 | 250本×20巻  |
| 57      |         |         | A-40353 |           |
| 65      |         |         | A-40369 |           |
| 75      | 3.1     | 7.0     | A-30726 | 200本×20巻  |
| 90      | 3.2     | 7.2     | A-30732 | 150本×20巻  |
| 45      | 2.5     | 5.8     | A-40319 | 300本×30巻  |
| 50      | 2.8     | 6.2     | A-33906 | 250本×30巻  |
| 65      | 3.1     | 7.0     | A-33912 | 250本×20巻  |
| 75      | 3.4     | 7.3     | A-33928 | 200本×20巻  |
| 90      | 3.8     | 7.9     | A-40325 | 150本×20巻  |
| 50      | 2.8     | 6.7     | A-30748 | 250本×30巻  |
| 65      | 3.3     | 7.1     | A-30754 | 200本×20巻  |
| 75      | 3.8     | 7.7     | A-30760 | 150本×20巻  |
| 90      | 3.8     | 7.9     | A-30776 |           |
| 75      | 3.3     | 7.7     | A-30782 | 200本×20巻  |
| 90      | 3.4     | 7.9     | A-30798 | 150本×20巻  |
| 45      | 3.0     | 6.0     | A-30807 | 250本×8巻   |
| 50      |         |         | A-30813 |           |
| 57      |         |         | A-30829 |           |
| 65      |         |         | A-30835 |           |

| 長さ (mm) | 線径 (mm) | 頭径 (mm) | 部品番号    | 梱包単位 (1箱) |
|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 45      | 2.5     | 5.5     | A-40892 | 200本×20巻  |
| 50      |         |         | A-40901 |           |
| 65      |         |         | A-40917 |           |
| 45      | 2.5     | 5.6     | A-19071 | 200本×30巻  |
| 50      |         |         | A-19087 |           |
| 50      | 2.5     | 5.4     | A-19021 | 200本×20巻  |
| 50      |         |         | A-19043 |           |

# 使用方法

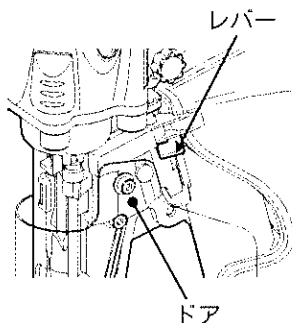
## 釘の入れ方

### ⚠ 警告

●釘を装填する際は、必ずコンタクトアームロックをしてエアホースを外す。

①コンタクトアームをロックして(P.16参照)、エアホースを外します。

②レバーを押しながら、ドアを開きます。



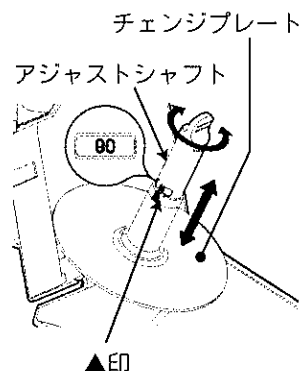
### ⚠ 注意

●必ず使用する釘の長さに合わせて、チェンジプレートの高さを調整して下さい。不適正な位置で使用すると釘送り不良の原因となります。

③使用する釘の長さに合わせて、チェンジプレートの高さを調整します。

アジャストシャフトを指で回すと、チェンジプレートの高さが上下に動きます。

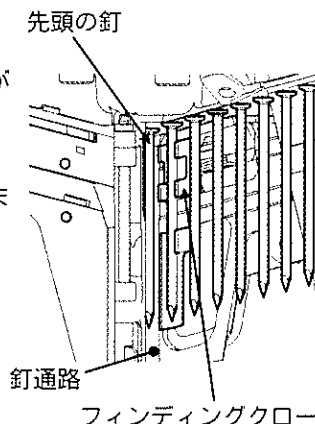
④▲印が使用する釘の長さに合うように調整して下さい。釘をチェンジプレートに乗せ、先頭の釘をドライバガイドまで引き出し、マガジンドアを開めます。



⑤先頭の釘を釘通路まで完全に入れます。

その際、フィンディングクロー(釘送り爪)に2本目の釘が完全にセットされている事を確認して下さい。

⑥レバーがしっかり止まるまで、ゆっくりとドアを閉じます。

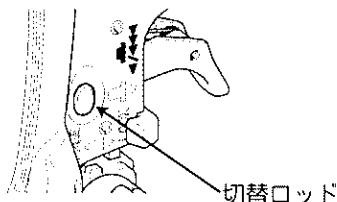


# 使用方法

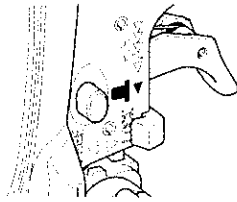
## 単発・連続打ちの切替機構

本製品の正面から切替ロッドを押すと「自動単発・連続切替モード」になります。このモードは打ち方を変えることにより「単発打ち」と「連続打ち」の使い分けができます。反対に裏面から切替ロッドを押すと「単発打ちモード」になります。

自動単発・連続切替モード



単発モード

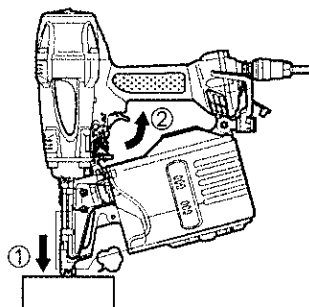


### ●「単発打ち」方法

単発打ちとは、打込対象物にコンタクトアームを押し当て、トリガを引く操作で釘を1本ずつ打つことができます。主に仕上げを重視する場合や狙った所に釘を打つ場合に適しています。

まずロックレバーを「FREE」の位置にします。

- ①打込対象物にコンタクトアームを押し当てます。
- ②トリガを引きます。



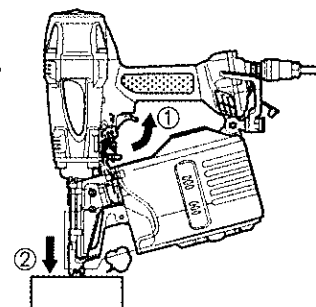
### ●「連続打ち」方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアームを押し当てる操作を繰り返すことで、連続的に釘が打つことができます。主に床、壁、屋根などの下地打ちの場合に適しています。

まず、ロックレバーを「FREE」の位置にします。

続いて切替ロッドを「自動単発・連続切替モード」にします。

- ①トリガを引きます。
- ②トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアームを押し当てれば、連続打ちができます。



※単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打込対象物に押し当てても釘は発射されません。続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったん離してから、連続打ちの操作を行って下さい。

## 使用方法

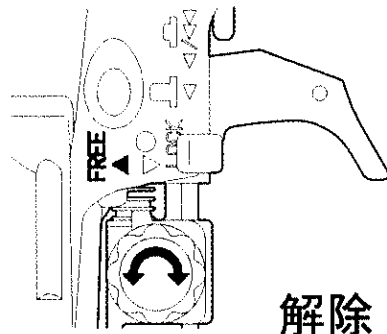
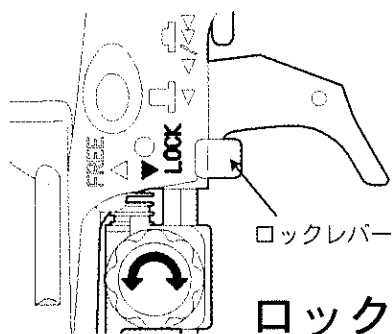
### コンタクトアームロックの使い方

本製品には釘打ち作業をしていない時、誤った操作による事故を防ぐために、コンタクトアームロックを装備しています。コンタクトアームロックとは、安全装置(コンタクトアーム)をロックし、完全に発射しない状態にする機構です。

ロックレバーを「LOCK」方向にスライドすると、安全装置が固定されます。

釘を打つ時は、ロックレバーを「FREE」方向にスライドして下さい。

作業時以外はコンタクトアームをロックして、エアホースを外して下さい。

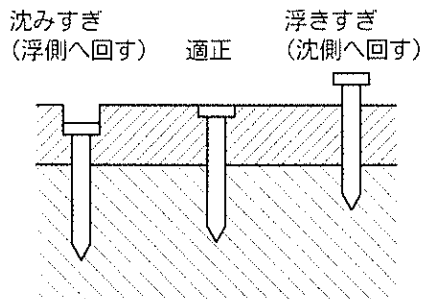
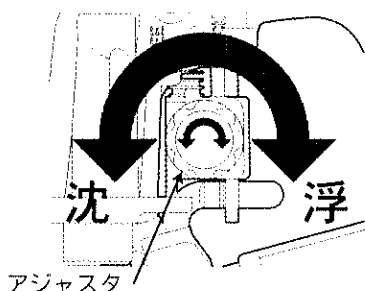


### アジャスタ(打込み深さ調整)方法

本製品は釘の打込み深さを調整する、アジャスタ機構を装備しています。

アジャスタを回転させて、打込み深さを調整して下さい。打込み深さ調整幅は6mmです。

(1回転で約0.8mmの調整ができます。)



### 警告

●打込み深さ調整の際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

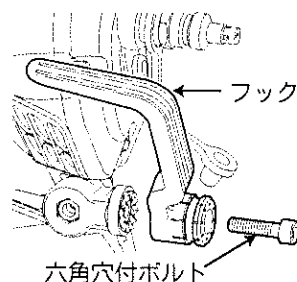


## 使用方法

### フックの使い方

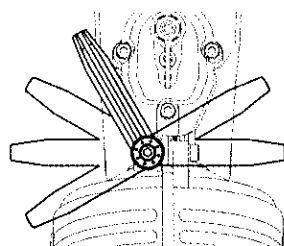
本製品は、フックを回転させる事により、フックの取付角度を6段階に変更できます。

フックを取り付けている六角穴付ボルトを外し、お好みの場所にフックをセットして、六角穴付ボルトを締め直して下さい。



#### ⚠ 警告

- フックの角度を変える場合や、使用の際は必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

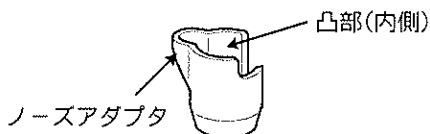
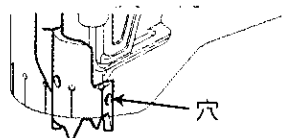


### ノーズアダプタの使い方

コンタクトアームで傷を付けたくない時は、コンタクトアームの先端部にノーズアダプタを取り付けて下さい。

#### ●ノーズアダプタの取付方法

ノーズアダプタの内側にある3ヶ所の凸部が、コンタクトアームの3ヶ所の穴に入るまで押し込んで下さい。



#### ⚠ 警告

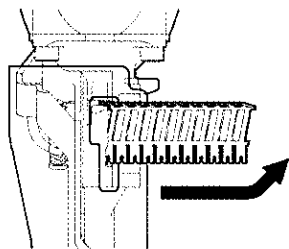
- ノーズアダプタ着脱の際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

## 使用方法

### 連結シートの切り方

シート連結釘を使用していると、ドライバガイドより連結シートが出てきます。

出てきた連結シートは矢印の方向に引きちぎって下さい。



#### ⚠ 警告

- 連結シートを切る際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。

### 釘詰まりの直し方

①コンタクトアームロックをして、エアホースを外します。

②ドアを開け、装填されている連結釘を抜き取ります。

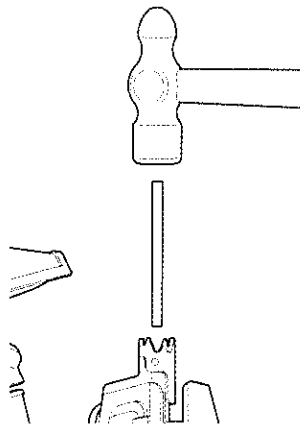
③射出口に釘の頭径位のポンチ・鉄棒を差し込み、ハンマでドライバ(芯棒)を徐々に叩いて下さい。

一度に叩くと、ポンチ(鉄棒)が挟まり、取れなくなる場合があります。

④ドライバガイドの内部に詰まった釘をマイナスドライバー等で取り除きます。

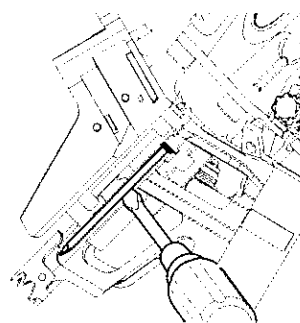
⑤釘を除去した後、ドライバ(芯棒)が釘通路に出ていない事を確認して下さい。(出ていた場合、棒で押し込めば、奥に入ります。)

⑥除去作業が完了したら、再度、釘を装填して下さい。



#### ⚠ 警告

- 釘詰まりを直す際は、必ずコンタクトアームロックをして、エアホースを外して下さい。



# 使用方法

## 釘の選定

鋼板への釘打ち作業をする場合

### △ 警告

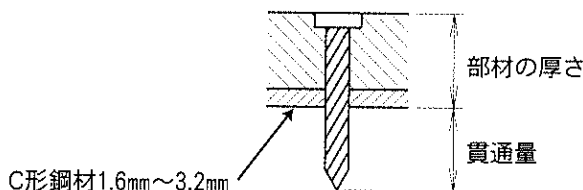
- 鋼板は厚さ1.6mm～3.2mmを使用する。
- 釘は鋼板用焼入釘を使用する。
- 鋼板の厚さに合った鋼板用焼入釘を使用する。
- 釘を打つ所に釘打機を直角に押し当てて打つ。
- 鋼板への直打ちは絶対にしない。
- 屋根、天井へは絶対に使用しない。

## 鋼板用焼入釘の選び方

釘の長さが部材の厚さに比べて長すぎると、釘がC型钢に入らず曲がる場合があり、けがなど事故の原因となります。

下図を参考に、適切な釘の長さを選定してご使用下さい。

| 部品番号    | 線径    | 長さ   | 部材の厚さ   | C型钢厚さ     |
|---------|-------|------|---------|-----------|
| A-19071 | 2.5mm | 45mm | 14～35mm | 1.6～2.3mm |
| A-19087 |       | 50mm | 15～40mm |           |
| A-30807 | 3.0mm | 45mm | 25～30mm | 1.6～3.2mm |
| A-30813 |       | 50mm | 25～35mm |           |
| A-30829 |       | 57mm | 35～40mm |           |
| A-30835 |       | 65mm | 40～50mm |           |



### 注

C型钢および打込み部材の硬さや厚さの組み合わせによっては十分に打込めないことがあります。

鋼板打ちでの打込み過ぎは、極端に保持力が低下しますので、打込み深さを調整して、使用してください。

### 注

鋼板打ち作業ではドライバ(芯棒)が磨耗し易くなります。磨耗した場合は研磨または新品のドライバ(芯棒)に交換してください。

## 使用方法

コンクリートへの釘打ち作業をする場合

### ⚠ 警告

- 釘はコンクリート用焼入釘を使用する。
- 釘を打つ所に釘打機を直角に押し当てて打つ。
- コンクリートへの直打ちは絶対にしない。
- コンクリートの端に釘を打たない。
- 物を吊り下げる所(配管の吊り下げなど)へ使用しない。

### コンクリート用焼入釘の選び方

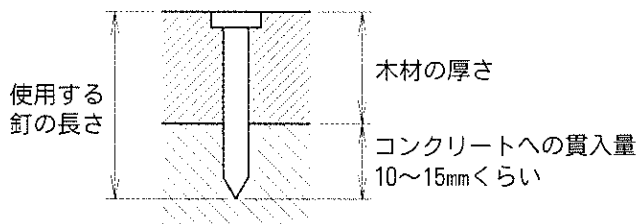
コンクリートへの貫入量が10~15mmくらいになるように選定して下さい。

下図を参考に、適切な釘の長さを選定してご使用下さい。

本製品は打設後まもないコンクリートのみで使用して下さい。

硬いコンクリートに使用すると、釘が曲がったり、十分に打ち込めないことがあります。

| 部材の厚さ (mm) | 釘の長さ (mm) | コンクリート貫入量 |
|------------|-----------|-----------|
| 30mm       | 45mm      | 10~15mm   |
| 35mm       | 50mm      | 10~15mm   |
| 50mm       | 65mm      | 10~15mm   |
| 60mm       | 75mm      | 10~15mm   |



## 使用方法

### エア圧力の目安と調整方法

下の表を目安にエア圧力を調整して下さい。

打込深さ調整を沈み方向いっぱい調整します。

試し打ちを行い、釘が沈みすぎるようでしたらアジャスタを浮き方向に調整します。

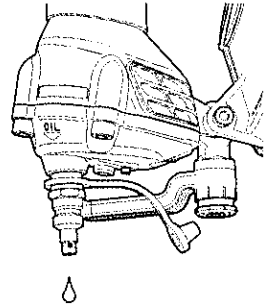
これで、釘が浮いてしまうようでしたら、エア圧力を高めに調整して下さい。

| 用途                 | 使用釘長さ   | 使用エア圧力                              |
|--------------------|---------|-------------------------------------|
| 木下地打ち              | 45~50mm | 1.27MPa<br>{13kgf/cm <sup>2</sup> } |
|                    | 57~65mm | 1.37MPa<br>{14kgf/cm <sup>2</sup> } |
|                    | 73~75mm | 1.57MPa<br>{16kgf/cm <sup>2</sup> } |
|                    | 85~90mm | 1.96MPa<br>{20kgf/cm <sup>2</sup> } |
| C形鋼打ち              |         | 2.06MPa<br>{21kgf/cm <sup>2</sup> } |
| コンクリート、窯業系サイディング打ち |         | 1.77MPa<br>{18kgf/cm <sup>2</sup> } |

## 使用後のメンテナンス

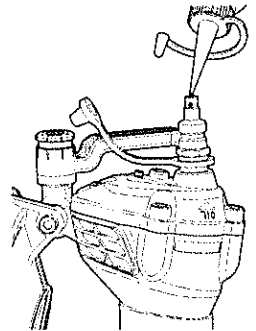
### ①水抜きを行う

本製品のエアプラグをしばらく下に向け、本体内部に残っている水分をできるだけ除去して下さい。



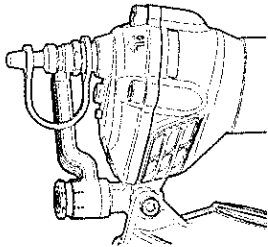
### ②オイルを注油する

本製品に付属している油サシ(タービン油 JIS2種 ISO VG32)を2～3滴(約1cc)エアプラグより注油して下さい。  
指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。



### ③本体の清掃

本体が、埃・木屑・砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃して下さい。

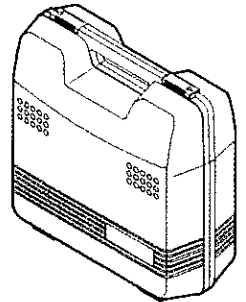


### ④エアプラグキャップの使用

本製品を使用しない時は、機械内部に異物(ゴミ・埃)が入らないように、エアプラグキャップを装着して下さい。

### ⑤作業後の保管

プラスチックケースに収納し、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。



# 全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名     | 電話番号             | 事業所名    | 電話番号             | 事業所名     | 電話番号              |
|----------|------------------|---------|------------------|----------|-------------------|
| 札幌支店     | (011) (783) 8141 | 足立営業所   | (03) (3899) 5855 | 東大阪営業所   | (06) (6746) 7531  |
| 札幌営業所    | (011) (783) 8141 | 大田営業所   | (03) (3763) 7553 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715  |
| 旭川営業所    | (0166) (29) 0960 | 江戸川営業所  | (03) (3653) 5171 | 南大阪営業所   | (0725) (46) 6611  |
| 釧路営業所    | (0154) (37) 4849 | 多摩営業所   | (042) (384) 8411 | 奈良営業所    | (0742) (61) 6484  |
| 函館営業所    | (0138) (49) 9273 | 立川営業所   | (042) (542) 1201 | 橿原営業所    | (0744) (22) 2061  |
| 苫小牧営業所   | (0144) (68) 2100 | 横浜支店    | (045) (472) 4711 | 和歌山営業所   | (073) (471) 4585  |
| 帯広営業所    | (0155) (36) 3833 | 横浜営業所   | (045) (472) 4711 | 田辺営業所    | (0739) (25) 1027  |
| 北見営業所    | (0157) (26) 9011 | 川崎営業所   | (044) (811) 6167 | 沖縄営業所    | (098) (874) 1222  |
| 仙台支店     | (022) (284) 3201 | 平塚営業所   | (0463) (54) 3914 | 兵庫支店     | (0794) (82) 7411  |
| 仙台営業所    | (022) (284) 3201 | 相模原営業所  | (042) (757) 2501 | 三木営業所    | (0794) (82) 7411  |
| 青川営業所    | (0229) (24) 0699 | 湘南営業所   | (0466) (87) 4001 | 尼崎営業所    | (06) (8437) 3660  |
| 吉森営業所    | (017) (764) 4466 | 静岡支店    | (054) (281) 1555 | 神戸営業所    | (078) (672) 6121  |
| 八戸営業所    | (0178) (43) 3321 | 静岡営業所   | (054) (281) 1555 | 姫路営業所    | (0792) (81) 0204  |
| 盛岡営業所    | (019) (635) 6221 | 沼津営業所   | (055) (923) 7811 | 広島支店     | (082) (293) 2231  |
| 水沢営業所    | (0197) (22) 5101 | 浜松営業所   | (053) (464) 3016 | 広島営業所    | (082) (293) 2231  |
| 郡山営業所    | (024) (932) 0218 | 甲府営業所   | (055) (276) 7212 | 福山営業所    | (084) (923) 0960  |
| いわき営業所   | (0246) (23) 6061 | 金沢支店    | (076) (249) 5701 | 三原営業所    | (0848) (84) 4850  |
| 新潟支店     | (025) (247) 5356 | 金沢営業所   | (076) (249) 5701 | 岡山営業所    | (086) (243) 4723  |
| 新潟営業所    | (025) (247) 5356 | 七尾営業所   | (0767) (52) 3533 | 宇都営業所    | (0836) (31) 4345  |
| 長岡営業所    | (0258) (30) 5530 | 富山営業所   | (076) (451) 6260 | 山形営業所    | (0834) (672) 5583 |
| 山形営業所    | (023) (643) 5225 | 高岡営業所   | (0766) (21) 3177 | 鳥取営業所    | (0857) (28) 5761  |
| 酒田営業所    | (0234) (26) 3551 | 播磨営業所   | (0776) (35) 1911 | 松江営業所    | (0852) (21) 0538  |
| 秋田営業所    | (018) (863) 5205 | 岐阜支店    | (058) (274) 1315 | 高松支店     | (087) (841) 2201  |
| 宇都宮支店    | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所   | (058) (274) 1315 | 高松営業所    | (087) (841) 2201  |
| 宇都宮営業所   | (028) (634) 5295 | 多治見営業所  | (0572) (22) 4921 | 徳島営業所    | (088) (626) 0555  |
| 小山営業所    | (0285) (25) 5559 | 松本営業所   | (0263) (25) 4698 | 松山営業所    | (089) (951) 7666  |
| 水戸営業所    | (029) (248) 2033 | 長野営業所   | (026) (225) 1022 | 宇和島営業所   | (0895) (22) 3785  |
| 土浦営業所    | (029) (821) 6086 | 上田営業所   | (0268) (22) 6362 | 高知営業所    | (088) (884) 7811  |
| 関東物流センター | (048) (771) 3451 | 飯田営業所   | (0265) (24) 1636 | 福岡支店     | (092) (411) 9201  |
| 埼玉支店     | (048) (771) 3462 | 名古屋支店   | (052) (571) 6451 | 福岡営業所    | (092) (411) 9201  |
| さいたま営業所  | (048) (777) 4801 | 名古屋営業所  | (052) (571) 6451 | 北九州営業所   | (093) (551) 3481  |
| 川越営業所    | (049) (222) 2512 | 一宮営業所   | (0586) (75) 5382 | 飯塚営業所    | (0948) (84) 3361  |
| 熊谷営業所    | (048) (521) 4647 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 久留米営業所   | (0942) (43) 2441  |
| 越谷営業所    | (0489) (76) 6155 | 知多営業所   | (0569) (48) 8470 | 佐賀営業所    | (0952) (30) 6603  |
| 前橋営業所    | (027) (232) 5575 | 岡崎営業所   | (0564) (22) 2443 | 長崎営業所    | (095) (882) 6112  |
| 高崎営業所    | (027) (365) 3688 | 豊橋営業所   | (0532) (46) 9117 | 佐世保営業所   | (0956) (33) 4991  |
| 西毛営業所    | (0276) (46) 7661 | 四日市営業所  | (0593) (51) 0727 | 熊本支店     | (096) (389) 4300  |
| 千葉支店     | (043) (231) 5521 | 津営業所    | (059) (232) 2446 | 熊本営業所    | (096) (389) 4300  |
| 千葉営業所    | (043) (231) 5521 | 伊勢営業所   | (0596) (36) 3210 | 八代営業所    | (0985) (43) 1000  |
| 市川営業所    | (047) (328) 1554 | 京都支店    | (075) (621) 1135 | 大分営業所    | (097) (567) 3320  |
| 成田営業所    | (0478) (73) 8101 | 京都営業所   | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所    | (0985) (26) 1236  |
| 水更津営業所   | (0438) (23) 2908 | 福知山営業所  | (0773) (23) 7733 | 鹿児島営業所   | (099) (267) 5234  |
| 柏営業所     | (04) (7175) 0411 | 大津営業所   | (077) (545) 5594 | 沖縄営業所    | (098) (874) 1222  |
| 東京支店     | (03) (3816) 1141 | 彦根営業所   | (0749) (22) 6184 | 大阪支店     | (06) (6746) 7531  |
| 東京営業所    | (03) (3816) 1141 | 大阪支店    | (06) (6351) 8771 | 大阪支店     | (06) (6746) 7531  |
| 中野営業所    | (03) (3337) 8431 | 大阪営業所   | (06) (6351) 8771 | 大阪支店     | (06) (6746) 7531  |

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)